

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2026年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行い、大阪インターハイ(中央大会)出場者の決定は、大阪高体連陸上競技専門部ホームページに掲載の第79回大阪高等学校陸上競技対校選手権大会の要項記載通りに行う。

(1)競技用シューズについて

審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

種 目	ソールの最大厚さ	その他の要件 / 注意
トラック種目(競歩を除く) フィールド種目 (サークルから行われる 投てき種目を除く)	スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ 20mm	すべての跳躍種目では、前足部中央のソールは、踵中央のソールより高くなってはならない。 (競技用靴に関する規程 8.3 項および 8.4 項参照 :シューズ内部の長さの 12%と 75%の位置)
競歩種目 (トラック、道路)	40mm	

(TR5.2)

(2)競技エリア内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を持ち込んではいけない。

2. 招集(コール)について

(1)招集時間(競技開始時刻前の下記時刻で行う。この時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。)

	トラック	跳 躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	80分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	70分前

(2)競技者は招集開始時刻までに招集所内で待機し、競技服装(アスリートビブス・トラック競技では腰ナンバーカードを付けている状態)になり、競技で使用するシューズのチェックを受ける。整列点呼後、招集所から各競技場所へは、競技者係の誘導によって、まとまって移動する。

(3)招集に遅れた競技者は欠場したもものとして処理する。

(4)欠場する場合は、欠場届を招集開始時刻までに招集所の競技者係へ必ず提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(5)招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、第一種目の招集完了時刻までに「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならない。

また、ラウンド進出により招集時間帯に競技が行われる可能性が発生した場合には、すみやかに多種目同時出場届を招集所へ提出すること。代理をたてる必要はない。(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(6)リレー競技について

①オーダー用紙は、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

②招集完了時刻前であっても、一度提出したオーダー用紙の変更・差し替えは認められない。

③一度オーダー用紙を提出した後の変更は、招集完了時刻までに総務に申し出たうえで、大会本部が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、走順の変更は認められない。

④オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。他種目に出場していて、多種目同時出場届の提出が完了している場合は、代理の必要はない。

(7)招集所から現地(スタートライン・跳躍ピット・投擲ピット)に行く場合、競技者係の指示に従うこと。

(8)混成競技(八種競技・七種競技)は、両日とも最初の種目のみ招集所で点呼を受け、以後の種目は、混成競技係が指示する時刻に現地で点呼を受けること。この時に、当日に行われる全ての種目のシューズを持参し、チェックを受けること。

3. **アスリートビブス** 必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。

トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。

なお、腰ナンバーカードは各校に配布済のものを使用すること。4×400m および 800m 以上の種目については主催者側で準備する。各校に配布済みの腰ナンバーカードが不足する場合は当日販売を行うので購入すること。

(布タイプ 1~8 番のセット 500 円、シールタイプは 1 枚 50 円)。

4. **運営方法**

(1)トラック種目では、100mと200mは予選を行い、その記録上位48名で各6組の決勝を行う。それ以外の種目はタイム決勝とする。100m・200m予選で48番目の記録が、1/100 秒まで同タイムの時は、1/1000 秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。100mにおいては、男子は1着+19名、女子は2着+16名が決勝に進出できることとする。200mにおいては、男子は1着+24名、女子は3着+18名が決勝に進出できることとする。

(2)800mは原則として1レーン2名でスタートし、120mでオープンとする。

(3)ラスト1周で5000mでは19分、3000mでは14分、3000mSCでは12分、男子5000mWでは33分、女子5000mWでは37分をこえる選手は審判長が競技を打ち切る。

(4)男子5000m、女子3000m、男女5000mWはグループスタートで行い、120mでオープンとする。

(5)男子5000m、女子3000m、男女5000mWは別ナンバーカードを使用する。

(6)走高跳と棒高跳を除くフィールド競技においては、トップ8を行う。

(7)バーの上げ方

走高跳 男子1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m80 以降3cm ずつ

女子1m25-1m30-1m35-1m40-1m45-1m50 以降3cm ずつ

八種競技 1m25-5cm ずつ-1m75 以降3cm ずつ

七種競技 1m15-5cm ずつ-1m45 以降3cm ずつ

棒高跳 男子2m82-3m02-3m22-3m42-3m62-3m82-4m02 以降10cm ずつ

女子2m02 以降10cm ずつ

※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

(8)フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	2分	3分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技は1分とする

※※残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

(9)走幅跳・三段跳1組はトラック側(A)ピット、2組はスタンド側(B)ピットで行う。ただし八種競技の走幅跳はバックスタンド側の1ピットで行う

(10)走幅跳の測定ラインは、男子5m20・女子4m20とする。ただし、各競技者の有効試技の1回目は計測する。

三段跳の踏切板は男子11m00、女子9m00とする。

(11)投てき競技はすべてフィールド内で行う。いずれの種目の投てき練習も競技場所に入ってから審判員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。

(12)やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。検査は、競技開始時刻の1時間30分前~1時間前までに受けるものとし、器具庫前へ持参すること。なお、混成競技のやりの検査は競技開始予定時刻の1時間前までとする。

5. 表彰 各種目6位まで賞状

- (1) 決勝がある100m・200mの表彰は順位優先とし、各組1位の者を記録順に1位から6位とする。
- (2) リレーの賞状は1校5枚とする。

6. 補助員 8:00集合(メインスタンド下 室内練習場)

3日・4日両日共、参加人数が5～9人以内の学校は1名、10～19人は2名、20人以上は3名出すこと。参加人数が極端に少なく補助員を出すのが難しい場合は、顧問が役員受付時に受付役員に申し出ること。清掃については、補助員割り当てを見て、確認しておくこと。

7. 競技場への入場について

入場は学校関係者のみとし、各校の顧問は入場者の把握を行ってください。

8. その他

- (1) 競技会開始前のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。
ただし競技会準備を優先し、マーシャル役員の指示に従い、練習は競技開始30分前までとする。

1日目(5/3)

長距離用周回練習:1・2レーン *ジョグはレーン外

ホームストレート 3・4・5・6・7レーン(直線からのスプリント練習)

ホームストレート 8レーン(100mH ただし混成競技出場者に限る)

バックストレート 6～8レーン(コーナーからのスプリント練習)

3レーン(女子 400mH 練習) 4・5レーン(男子 400mH 練習)

ただし、6～8レーンはバトン練習を優先とする。練習後に必ず、(養生テープ)をはがすこと。

*バトン練習は初日のみ

2日目(5/4)

長距離用周回練習:1・2レーン *ジョグはレーン外

ホームストレート 3・4レーン(直線からのスプリント練習)

5・6レーン(100mH 練習)、7・8レーン(110mH 練習) ※レーン外で戻る

バックストレート 3～8レーン(コーナーからのスプリント練習)

- (2) ホームストレートのみを使用してトラック競技が行われている際は、バックストレートを練習スペースとして開放する。
ただし、投てき競技や跳躍競技の進行の妨げにならないように留意すること。
(必要に応じて、競技役員により使用可能区域を制限する)
- (3) 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (4) 3日(祝・日)・4日(祝・月)両日もサブグラウンドはアップ場として開放する。
- (5) 競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止です。ゴール後は本部前を通らずに戻る。
また、トラック周囲を通行することは競技の妨げになるので、スタンド通路を通行すること。
- (6) フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。
- (7) メインスタンドには部旗・のぼり・横断幕等を掲げない。テントはメインスタンドおよびバックスタンド中段通路より上で、屋根のない所に設置する。
- (8) 貴重品・私物の管理は各校で責任を持つこと。盗難には十分に注意すること。
- (9) ケガ人が出た場合、本部で応急手当は行いますが、その後は各校顧問で処置して下さい。
- (10) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (11) 駐輪禁止:ホームページの駐輪禁止場所地図を参照し、禁止場所には自転車を止めないこと。
- (12) 本大会の結果については場内アナウンス及び電光掲示で行い、ラウンドおよび上位大会進出に関わるものを除き紙による掲示は行わない。高体連 HP に随時アップデートするため、各自確認すること。なお、競技結果が場内アナウンスされた時点を正式発表とする。
- (13) 競技エリア内にビデオ装置、携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器等を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所から提示して見ることは認めない。メインスタンド前ピットで行われる走幅跳・三段跳では、録画再生機器等をメインスタンドの指定されたエリアから大会本部が用意した吊り下げ紐付き袋を使用した場合のみ、それ以外の場所での跳躍競技および投擲競技では、コーチ席前の指定されたエリアの中で、録画映像を提供する者から受け渡しが可能であれば、競技者は撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器等を手にしてもよい。ただし通信通話機器機能の使用は競技規則により禁止である。
- (14) 撮影はスマートフォンもしくはタブレットのみとし、一眼レフカメラ、ビデオカメラ、デジタルカメラ等での撮影を禁止する

(高体連が許可した報道関係者は除く)。また、スマートフォン等に追加レンズを装着しての撮影も禁止とする。保護者の撮影は当該選手のみ、生徒の撮影は当該校の選手のみとし、撮影禁止エリアでは撮影してはいけない。

(15)5/4(祝・月)の開門抽選は3日(祝・日)8:45~9:00の間に1階エントランスで行う。

(16)5/29(金)中央大会1日目の開門抽選は4日(祝・月)8:45~9:00の間に1階エントランスで行う。

(17)5/3の16時30分以降、メインスタンド下室内練習場に各校のテント等の荷物を置いて帰ってもよい。ただし、取りに行くことができるのは翌日の開門後に限るため、ブルーシート等の開門時の場所取りに必要な荷物に関しては各校で持ち帰ること。また、荷物の紛失等のトラブルに関して主催者は一切の責任を負いかねるため、各校の責任で判断すること。

第79回大阪高等学校陸上競技選手権大会(中央大会)について

1. 地区予選会(今大会)にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
2. 種目にエントリーした選手のうち、シード権(各種目昨年度ランキング8位以内の者に与えられる。ただし、競歩・混成・女子[三段跳・棒高跳]は6位以内の者とする)を行使した場合は、今大会に出場できないため、参加料を顧問に返金する。
3. 中央大会への出場者は以下の通りである(第79回大阪高等学校陸上競技選手権大会要項(以下、要項)参照)。
 - ①100m・200mは今大会の決勝の各組上位4名の合計24名
 - ②4×100mは今大会にエントリーしたチームすべて、4×400mは今大会の記録上位32チーム
 - ③競歩は、3・4地区も合わせた全体で記録上位者とシード選手を合わせた合計30名
 - ④混成競技は、3・4地区も合わせた全体で記録上位者16名
(混成競技・競歩の中央大会出場者は、判明しだい連絡する)
 - ⑤女子の棒高跳、三段跳は今大会の記録上位16名
 - ⑥ハンマー投はエントリーした全員
 - ⑦上記①~⑥以外は、今大会の記録上位者24名
 - ⑧シード権を与えられた者(要項参照)。ただし、シード権を放棄し、地区予選会に出場した者は除く。
- (1)トラック競技で、24位(4×400mは32位、100mと200mは各組4位)の記録が1/100秒まで同じ場合は、1/1000秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。フィールド競技で24位が複数の場合は抽選とする。
- (2)出場の可否は、決勝記録の発表(放送・掲示・大阪高体連陸上競技専門部 web)で確認すること。
今大会中に改めての連絡はしない。
今大会各種目の参加人数(エントリー総数からシード選手を除いた人数)が24名以下の種目(女子の棒高跳、三段跳は16名以下、4×400mは32チーム以下)にエントリーした者は、全員(全チーム)が中央大会に出場できる。競技において欠場・コールもれ・失格などがあっても出場できる。
- (3)3・4地区の地区予選会の参加人数が中央大会の出場規定数に不足する種目がある場合は、1・2地区予選会の25位(女子の棒高跳、三段跳は17位、4×400mは33チーム)以降からその不足分を補充し、中央大会に出場できる。
4. 中央大会の出場辞退について
 - (1)決勝記録の発表後、本大会中に地区主任に辞退届を提出すること。なお、提出後の変更は、一切認めない。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。
 - (2)辞退届が提出された場合は、25位(女子の棒高跳、三段跳は17位、4×400mは33チーム)以降の者から補充する。ただし、決勝を行う100m・200mは、決勝各組5位の者で記録上位の者を補充する。(1/100秒まで同タイムの時は1/1000秒の単位で判定し、それでも判定できない時は抽選する)また、フィールド競技で25位(女子の棒高跳、三段跳は17位)が複数の場合は抽選を行う。
5. リレーメンバーの変更について
中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了までにリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。変更のある場合のみ提出すること。(変更のない場合、提出は不要。)
6. 中央大会の出場者への連絡文書を、5月13日(水)を目途に、顧問あてにメール送信する。
7. 各校は参加選手一覧表を作成(男女別は不要)し、校長印・顧問印を押印の上、5月29日(金)の学校受付時に提出すること。また、参加料(個人種目1種目500円 混成種目1000円 リレー1種目1000円)を、後日案内する大阪高体連陸上競技専門部の口座に期日までに振り込むこと。
8. 中央大会の日程
5月29日(金)・30日(土)・31日(日) 9時30分競技開始 ヤンマーフィールド長居

◎本大会で使用した個人情報につきましては、本大会の目的以外に使用することはありません。